

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 9 月 11 日

岡山地方裁判所第 3 民事部

裁判所書記官 木 山 真由美

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 10 月 1 日 午前 9 時 00 分から 令和 8 年 10 月 8 日 午後 4 時 30 分まで
開札期日	日 時 令和 8 年 10 月 15 日 午前 10 時 00 分 場 所 岡山地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 11 月 5 日 午前 10 時 00 分 場 所 岡山地方裁判所第 3 民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 9 月 11 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物 件 目 録

- 1 所 在 倉敷市南町
地 番 205 番 15
地 目 宅地
地 積 152.36 平方メートル

所有者 A

- 2 所 在 倉敷市南町 205 番地 15
家屋 番号 205 番 15
種 類 倉庫
構 造 鉄骨造瓦葺 2 階建
床 面 積 1 階 93.93 平方メートル
2 階 95.43 平方メートル

(未登記附属建物)

- 種 類 便所・浴室
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 約 7 平方メートル

所有者 有限会社黒田建設



物 件 明 細 書

令和 8年 7月17日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 木 山 真由美

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

主建物1階物置及び未登記附属建物浴室(脱衣所を含む)部分については、Dが占有している。同人の占有権原は使用借権と認められる。

上記以外の主建物及び未登記附属建物については、本件建物所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません(訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります)。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみが簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ



ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。
このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。



物 件 目 録

- 1 所 在 倉敷市南町
地 番 205 番 15
地 目 宅地
地 積 152.36 平方メートル

所有者 A

- 2 所 在 倉敷市南町 205 番地 15
家屋 番号 205 番 15
種 類 倉庫
構 造 鉄骨造瓦葺 2 階建
床 面 積 1 階 93.93 平方メートル
2 階 95.43 平方メートル

(未登記附属建物)

- 種 類 便所・浴室
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 約 7 平方メートル

所有者 有限会社黒田建設



令和8年(ケ)第44号
令和8年6月3日受理
令和8年7月8日提出

現況調査報告書

岡山地方裁判所

執行官 谷 隆 之

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 倉敷市南町
地 番 205 番 15
地 目 宅地
地 積 152.36 平方メートル

所有者 A

2 所 在 倉敷市南町 205 番地 15
家屋 番号 205 番 15
種 類 倉庫
構 造 鉄骨造瓦葺 2 階建
床 面 積 1 階 93.93 平方メートル
2 階 95.43 平方メートル

所有者 有限会社黒田建設



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	(住居表示未実施)		
土地	物件1		
現況地目	☒ 宅地(物件1) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☐ 土地所有者 ☒ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項			
建物	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる(☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:		
物件目録にない附属建物	☐ ない ☒ ある { 種類: 便所・浴室 構造: 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 床面積: 約7平方メートル }		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☒ その他の者 上記の者が本建物に動産類を残置して占有している ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない { 地方裁判所 支部 平成 年()第 号 保管開始日 平成 年 月 日 } ☐ ある		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件1関係)			
占有範囲		■全部 ☐	
占有者		■債務者 ☐	
占有状況		■敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☐ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☐	
■関係人(■B (Aの配偶者) ☐ ()の陳述/□提示文書()の要旨			
占有権原		□賃借権 ■使用借権 ☐ 不明	
占有開始時期		平成10年2月13日 (不動産登記上の建物新築日)	
最初の	契約日	年 月 日	
契約等	期間	年 月 日 から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし	
更新の種類別		□合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の	期間	令和2年10月9日 から ☐ 年 月 日まで 年間	
契約等		■期間の定めなし	
契約等	貸主	■所有者 ☐ その他の者 ()	
当事者	借主	■占有者 ☐ その他の者 ()	
賃料・支払時期等		毎 金 円 (毎 限り 分支払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金		□ない ☐ ある (□敷金 円 □保証金 円)	
特約等		☐ 譲渡・転貸を認める ☐	
その他		本件土地の占有について、関係人の陳述によると、少なくとも現所有者との関係では(有)黒田建設が使用借していると認められるが、前所有者との関係では不明である	
執行官の意見		■上記のとおり ☐ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件2関係)			
占有範囲		☐ 全部 ☒ 主建物1階物置及び未登記附属建物浴室 (脱衣所を含む)	
占有者		☐ 債務者 ☒ D	
占有状況		☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☐ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☒ 物置・浴室	
☒ 関係人(☒ D (近隣者) ☐ ())の陳述／ ☐ 提示文書()の要旨			
占有権原		☐ 賃借権 ☒ 使用借権 ☐	
占有開始時期		平成10年2月13日	
最初の	契約日	平成10年2月13日	
契約等	期間	平成10年2月13日 から ☐ 年 月 日まで 年間 ☒ 期間の定めなし	
更新の種類別		☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の	期間	年 月 日 から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし	
契約等	貸主	☒ 所有者 ☐ その他の者 ()	
当事者	借主	☒ 占有者 ☐ その他の者 ()	
賃料・支払時期等		毎 金 円 (毎 限り 分支払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金		☐ ない ☐ ある (☐ 敷金 円 ☐ 保証金 円)	
特約等		☐ 譲渡・転貸を認める ☐	
その他			
執行官の意見		☒ 上記のとおり ☐ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(4 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
☒ B (Aの配偶者)	1 本件土地は私の配偶者Aの所有です。 なお、Aは現在入院しており、本件について対応することができないので、私が代わりに対応します。 2 本件建物は(有)黒田建設の所有です。 3 本件建物は倉庫です。現在は使っておらず、動産類はありますが、空家の状態です。 4 本件土地建物に関して、Aと(有)黒田建設は金銭のやり取りはありません。 5 なお、本件土地の前所有者Cと(有)黒田建設については、詳しいことはわかりません。 6 本件建物には雨漏り等不具合はないと思います。 7 隣地所有者と境界等の争いはありません。 8 立入調査には立ち会うことができないので、そちらで期日を決めて調査していただいて結構です。
☒ D (近隣者)	1 私は、本件土地の隣接地(205番37の土地)に住む者です。 2 (有)黒田建設所有の本件建物1階の倉庫と未登記附属建物の脱衣所を含む浴室部分を平成10年2月13日の新築時から使用借させてもらっています。

執行官の意見

- 1 本件建物の外観及び本件土地の状況は、写真1ないし4のとおりである。
- 2 本件建物内の状況は、写真5ないし11のとおりである。
- 3 本件土地の占有について、関係人の陳述によると、少なくとも現所有者との関係では(有)黒田建設が使用借していると認められるが、前所有者との関係では不明であるので、この点留意されたい。。
- 4 関係人の陳述によると、本件建物について、その主建物1階物置部分及び未登記附属建物浴室部分(脱衣所を含む)について、Dが使用借しているので、この点留意されたい。
- 5 間取り
別紙建物間取図のとおり
- 6 接面道路
物件1土地西側が市道(南町6号線)に接している(土地建物位置関係図参照)。

以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過

調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
8年 6月 4日 (木) 9:45-10:10	岡山地方法務局倉敷支局	公図閲覧、地積測量図、建物図面、登記事項要約書交付申請
8年 6月 4日 (木) 13:00-13:20	物件所在地	物件確認、形状調査、写真撮影 求連絡書面投函
8年 6月 4日 (木) : - :	当庁執行官室(郵便)	有限会社黒田建設及びAに対し求連絡書面郵送(切6/11 (切手代110円×2))
8年 6月 8日 (月) 11:20-11:30	(当職携帯電話)	Bより聴取
8年 6月 9日 (火) 16:05-16:10	(当職携帯電話)	Bより聴取 立入調査期日通知
8年 6月23日 (火) 14:25-15:10	物件所在地	評価人同行、立入調査、占有調査、形状調査、写真撮影 Dより聴取
年 月 日 () : - :		

(特記事項)

☐ 令和 年 月 日

目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

☐ 令和 年 月 日

目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

☐ 令和 年 月 日

休日・夜間執行許可の提示をした。

☒ 令和8年6月23日

目的物件は不在であったが、施錠されていなかったもので、立会人 E を立ち合わせ、建物内に立ち入った。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図

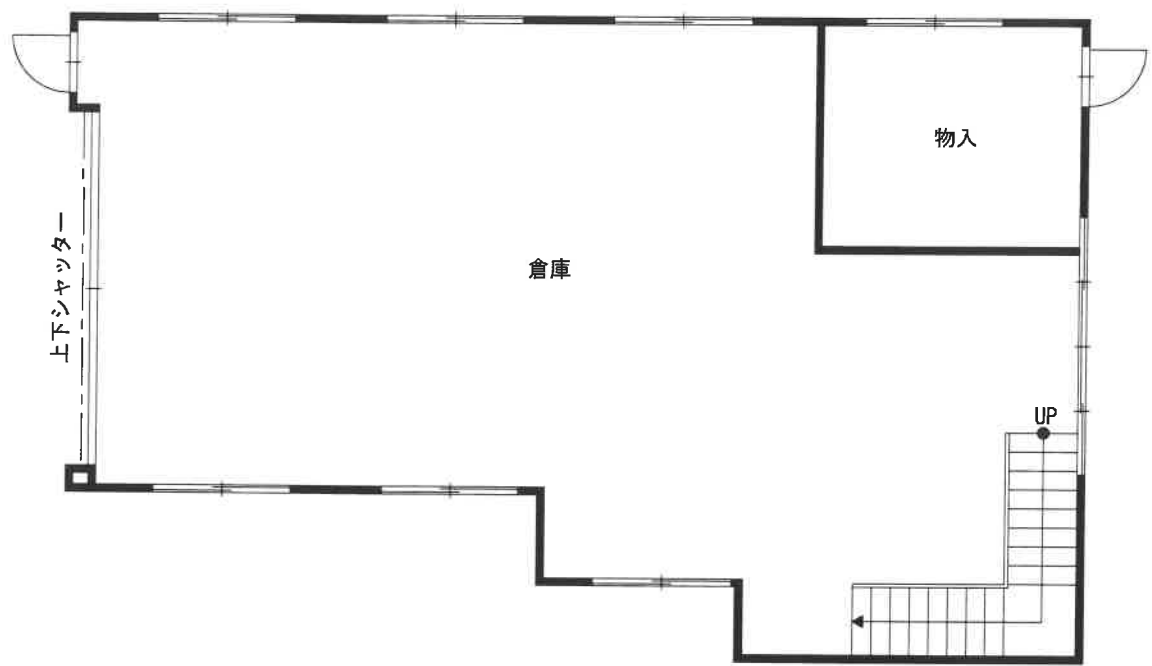
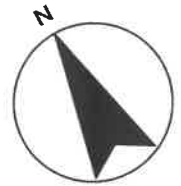
S $\div$ 1 : 250



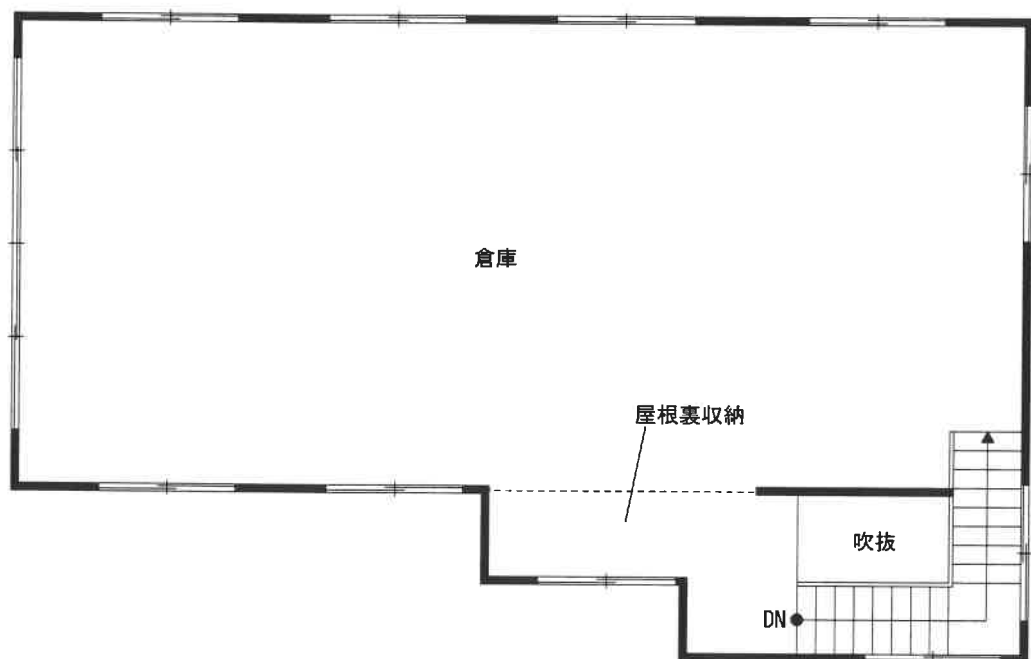
※本図面はあくまで概略図であって、土地建物、道路等の範囲及び位置関係を断定的に示すものではない。

建物間取図

物件2主建物



1階



2階

(9 枚目)

建物間取図

物件2建物
未登記附属建物

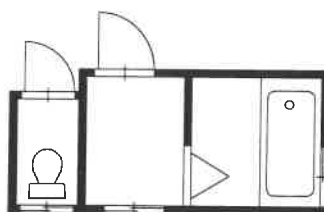


写真1 下屋 物件2主建物 物件1土地



写真2 市道 物件1土地 物件2主建物



写真3 物件2未登記附属建物 下屋 物件1土地



写真4 物件2 未登記附属建物 下屋状物置



写真5 物件2 主建物・1階倉庫



写真6 物件2 主建物・1階物入



写真7 物件2主建物・2階倉庫



写真8 物件2主建物・2階屋根裏収納



写真9 物件2未登記附属建物・トイレ



写真 1 0 物件 2 未登記附属建物・浴室



写真 1 1 物件 2 未登記附属建物・脱衣所



評 第 26-05224 号
令和 8 年 (ケ) 第 44 号
令和 8 年 6 月 23 日 現地調査
令和 8 年 7 月 9 日 評 価

岡山地方裁判所 第 3 民事部 御中

評 価 書

評価人 青井 純三

第 1 評価額

項目	物件番号	種類	評価額
一括価格	一括 (物件1・2)	土地 建物	金 7,806,000 円
内訳価格	1	土地	金 6,713,000 円
	2合算	建物	金 1,093,000 円

- ① 一括価格とは、物件番号記載の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格とは、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 上記土地の内訳価格は建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、建物の内訳価格は当該土地利用権等価格を建物自体の価格に加算した価格である。

第 2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、原則として買受希望者が事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件状況の変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

物件 番号	種類	所在等	登記	現況
1	土地	所在地 番地 目録	倉敷市南町 205番15 宅地 152.36 m ²	概ね同左
2	建物	所在地 家屋番号 種類 構造 床面積	(主建物) 倉敷市南町 205番地15 205番15 倉庫 鉄骨造瓦葺 2階建 1階: 93.93 m ² 2階: 95.43 m ² 延 : 189.36 m ²	概ね同左
		種類 構造 床面積	(附属建物) 未登記	便所・浴室 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 約7m ² (概測)
物件 番号	特記事項			
—	特になし。			

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件 1 ）

位 置・交 通	JR山陽本線 倉敷 駅 の 南 方直線約 900 m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	県道(白壁通り)の南側背後のやや狭隘道路沿いにおいて、戸建、倉庫、駐車場等が建ち並ぶ地域。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	(県道との境界から 30m以内) 都市計画区分 : 市街化区域 用途地域 : 近隣商業地域 建 ぺ い 率 : 80 % 容 積 率 : 300 % 防 火 規 制 : 防火地域 その他の規制 : 屋外広告物 第3種許可地域 倉敷市自転車等 駐車場附置義務条例	(県道との境界から 30m超) 市街化区域 第2種住居地域 60 % 200 % 無 屋外広告物 第3種許可地域
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 152.36 m ² 間 口 : 約 6.5 m 奥 行 : 約 19 m 形 状 : 略台形 接面状況 : 中間画地 地 勢 : 略平坦	
接 面 道 路	方 位 : 北西側 幅 員 : 約 3.5m 舗 装 : 有 種 類 : 市道 (南町6号線) 高低差 : 略等高 摘 要 : 法42条2項道路	
土 地 の 利用状況 及び隣地の状況等	現況で物件2の主建物及び未登記附属建物等が存する。 隣地は駐車場のほか戸建住宅が立地している。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : 有 ガス配管 : 有 下 水 道 : 有	※供給処理施設における「有」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管(以下施設管という)が通っており、通常の費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	特になし	

2 建物の概況及び利用状況等（物件 2主 ）

区 分	主である建物
建築時期 及び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建 築 年 月 日 : 平成10年2月頃 新築(登記上) 経 過 年 数 : 28 年 経済的残存耐用年数 : 数 年 (主体部分) 増 改 築 時 期 : 無
仕 様	外 壁 : サイディング張等 天 井 : アラジ等 内 壁 : アラジ等 床 : 土間コン等 その他 : -
建 物 の 品 等	中 品 等
床面積 (現況)	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 「現況調査報告書」のとおり
保守管理の状態	稍不良
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特 記 事 項	本建物は現在は使用されていないとの事であるが、動産類が多く残存している。

3 建物の概況及び利用状況等（物件 2未附 ）

区 分	附属建物
建築時期 及び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建 築 年 月 日 : 平成10年頃 新築(陳述) 経 過 年 数 : 28 年 経済的残存耐用年数 : 数 年 (主体部分) 増 改 築 時 期 : 無
仕 様	外 壁: 板・亜鉛メッキ鋼板張り 天 井: 石膏ボード等 内 壁: 板貼等 床 : フローリング等 その他: -
建 物 の 品 等	中 品 等
床面積 (現況)	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 「現況調査報告書」のとおり
保守管理の状態	普通
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特 記 事 項	・築年月日は不詳だが、主である建物と同時期に建築されたとの事である。 ・詳細は不明だが、浴室等の供給処理施設は関係者が所有している隣接地のものを利用している可能性があるので留意されたい。

第5 評価額算出の過程

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 土地

対象物件が所在する地域の標準画地価格を求め、これに評価対象地の個別格差修正及び必要に応じて建付減価補正を行い土地価格を判定した。

i 標準画地価格の査定

(標準画地の概要) (A 地域)

種 別 : 住宅地
 街路 幅員 : 約 3.5 m
 地 積 : 約 140 m²
 間口・奥行 : 約7m×約20m
 形 状 : 略長方形
 高 低 差 : 略等高
 接面 状況 : 中間画地

地域 符号	公示価格等 (円/㎡) ア	時点 修正 イ	標準化 補 正 ウ	地域 格差 エ	規準価格等 (円/㎡) オ	標準画地価格 (円/㎡) カ
	119,000	$\frac{102}{100}$	$\frac{100}{100}$	$\frac{100}{109}$	111,000	111,000
A	公示地 倉敷-17	公示価格 等の価格 時点から 評価日ま での推定 変動率で ある。	公示地等 の画地条 件を標準 的なもの に補正し た。	街路条件、交 通接近条件、 環境条件、行 政的条件等の 格差を考慮の うえ査定し た。	オ：ア×イ×ウ× エ	規準価格等を参考に 周辺取引事例等を検 討のうえ査定した。

ii 建付地等の価格

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	持分 割合 ウ	地積 (㎡) エ	建付減価 補正率 オ	建付地等価格 (円) カ
1	111,000	0.90	1.00	152.36	0.70	10,655,000
	A 地域	方位 0.98 形状 0.97 間口奥行 0.95 相乗積 0.90	-	登記数量	地域との適合 性・敷地との適 応性等を考慮の うえ査定した。	カ：ア×イ× ウ×エ×オ

② 建物

当該建物の再調達原価を求め、これに耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	持分 割合 イ	現況延 床面積 (㎡) ウ	現価率 エ	建物価格 (円) オ
2主	66,000	1.00	189.36	0.03333	417,000
	建物建築費の推移 動向、消費税の課 税等も考慮した標 準的な建築費に比 準して求めた。	-	-	耐用年数に基づく方法と観察減価法を併 用して査定した。	オ：ア×イ× ウ×エ
2未附	340,000	1.00	7	0.03333	79,000
	同上	-	-	同上	同上
合 計					496,000

2 積算価格の判定

前記により求めた価格に、必要に応じて、土地については土地利用権等を考慮した底地等割合を乗じ、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり積算価格を求めた。

① 底地価格

物件番号	建付地価格 (円) ア	底地等割合				底地価格 (円) エ：ア×イ×ウ
		細符号	制約権利等	イ 面積割合	ウ 底地等割合	
1	10,655,000	1	使用借権	1.000	0.90	9,589,500
		計	-	1.000	-	9,589,500

② 土地利用権等価格

物件番号		建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合				土地利用 権等価格 (円) エ：ア×イ×ウ
建物	土地		細符号	土地利用権等	イ 面積割合	ウ 権利等割合	
2合算	1	10,655,000	1	使用借権	1.000	0.10	1,065,500
			計	-	1.000	-	1,065,500

③ 土地利用権等付建物価格

物件 番号	建物自体の価格 (円) ア	土地利用権等価格 (円) イ	土地利用権等付建物価格 (円) ウ：ア＋イ
2合算	496,000	1,065,500	1,561,500

④ 内訳価格及び一括価格(積算価格)の査定

物件 番号	底地価格及び 土地利用権等 付建物価格 (円) ア	占有減 価修正 イ	市場性 修正率 ウ	競売市場 修正率 エ	その他 減価 オ	積算価格 (円) カ
1	9,589,500	-	1.00	0.70	1.00	6,713,000
2合算	1,561,500	1.00	1.00	0.70	1.00	1,093,000
一括 (物件1・2)	11,151,000	-	-	-	-	7,806,000
	上記①②③参照。	必要なし	必要なし	不動産競売 市場の特殊 性等を考慮 のうえ査定 した。	必要なし	カ：ア×イ× ウ×エ×オ

Ⅱ 収益価格の試算

対象不動産の所在する地域における賃貸借の動向、対象不動産の用途及び個別性等から、対象不動産が賃貸借に供せられることは一般的でない。
従って、収益還元法を適用しなかった。

Ⅲ 評価額の決定

以上により求めた積算価格を妥当なものと認め採用し、本件評価額を標記のとおり決定した。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格等

地 域 符 号 : A
番 号 : 倉敷-17
所 在 : 倉敷市中央2丁目226番10
価 格 : 119,000 円/㎡
位 置 : 倉敷約1.1km (道路距離)
価 格 時 点 : 令和8年1月1日
地 積 : 208 ㎡
供給処理施設 : 水道・ガス・下水
接 面 街 路 : 東5.6m市道
都市計画区分 : 市街化区域
用途 指定 等 : 2住居(60,200)
地域 の 概要 : 中規模一般住宅が多い市街地に近接する住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和 8 年度)

物件 番号	種類	固定資産評価額	摘要
1	土地	10,330,617 円	—
2	建物	3,225,766 円	—

※ 参考価格資料のうち地価公示価格等は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格である。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、固定資産評価額とは、その性質を異にしている。

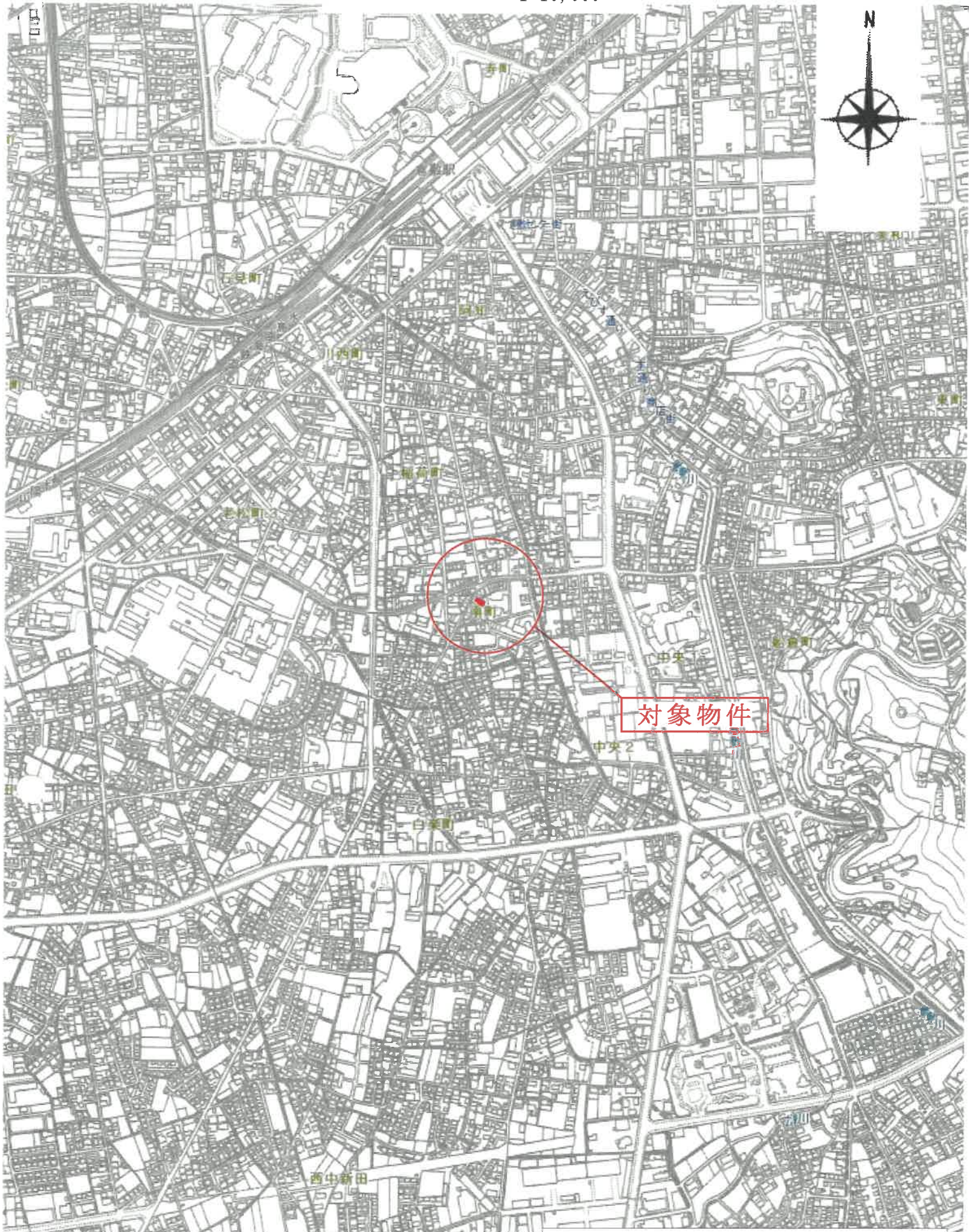
第7 附属資料の表示

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 建物図面写
- 4 土地建物位置関係図 (概略図)

以 上

位置図

1:10,000

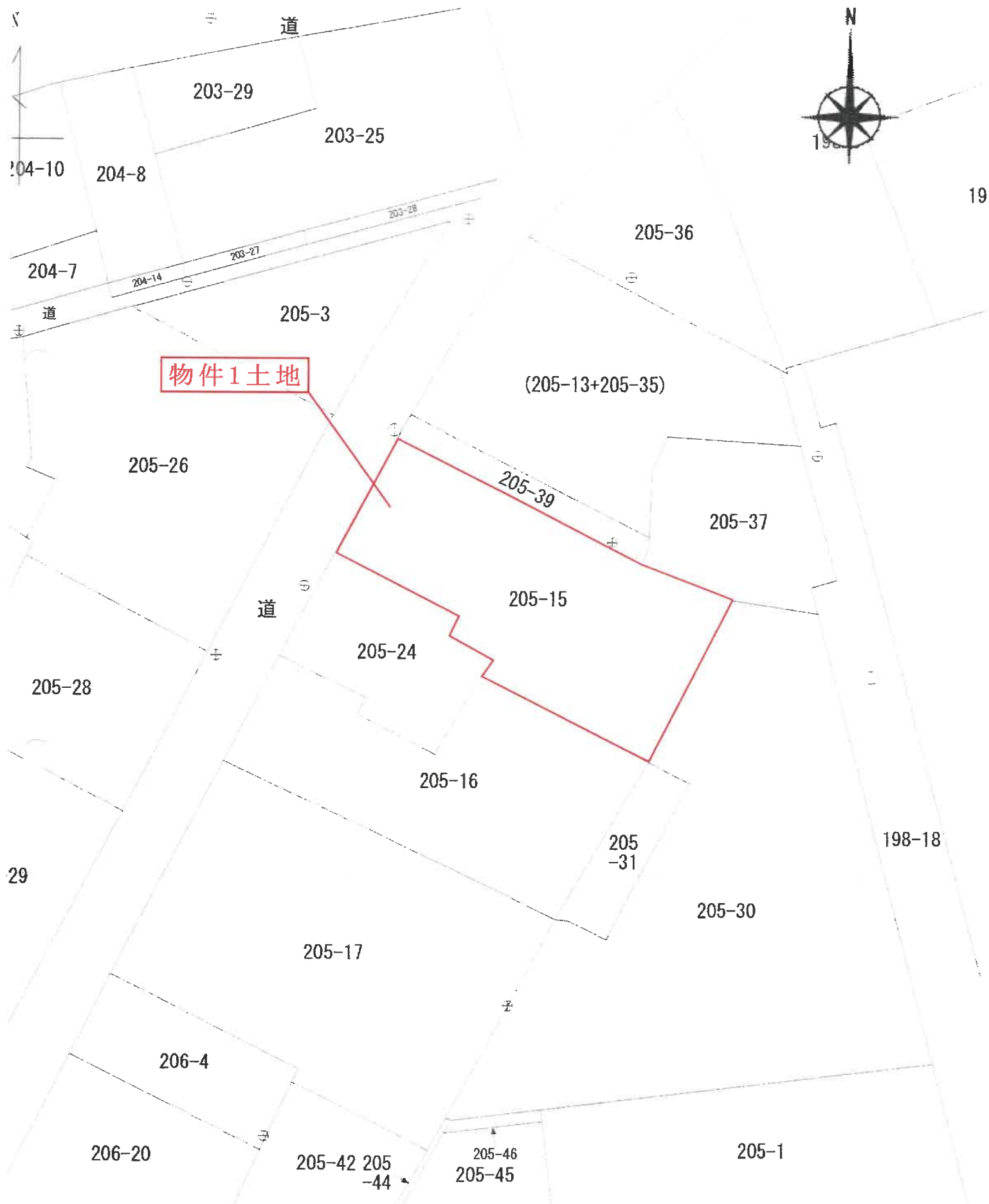


1:2, 500



公図写

1:250



1007459

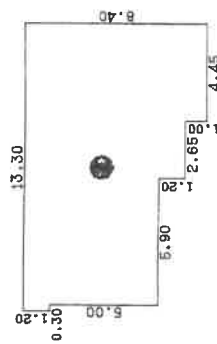
各階平面図

建物図面
(各階平面図)

家屋番号 205番15

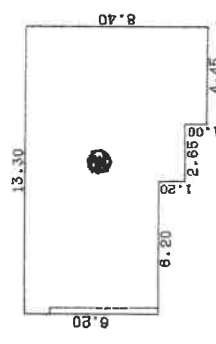
建物の所在 倉敷市南町205番地15

物件2建物



求積表

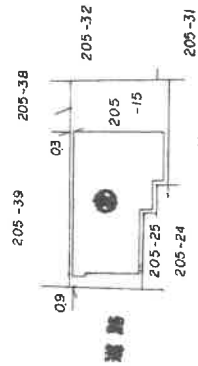
0.30 x 1.20 =	0.3600
5.90 x 6.20 =	36.5800
2.65 x 7.40 =	19.6100
4.45 x 8.40 =	37.3800
合計	93.9300
床面積	93.93 ㎡



求積表

6.20 x 6.20 =	38.4400
2.65 x 7.40 =	19.6100
4.45 x 8.40 =	37.3800
合計	95.4300
床面積	95.43 ㎡

約71%に縮小



作製者

士

1/250

申請人

縮尺 1/500
7 1,400

土地建物位置関係図

S ≒ 1 : 250



※本図面はあくまで概略図であって、土地建物、道路等の範囲及び位置関係を断定的に示すものではない。